

1. 研究テーマ:「半田山周辺におけるキマダラカメムシの生息調査」  
岡山理科大学生物地球学部生物地球学科 中村 圭司 准教授のご指導を仰ぎ、Rコース2年B組 内西 友貴, 榎本 祐介, 櫃本 有希雄, 藤原 熙士 の4名の生徒が、課題研究を始めました。キマダラカメムシ(図1)は南方系の外来生物で、温暖化北上種として知られ、近年、日本各地で繁殖が確認されています。数年前、半田山においても、キマダラカメムシの生息は確認されましたが、まだ正確な調査は行われていません。今回、この課題研究を行いながら、昆虫と環境との関係を学んでいこうと考えています。



図1 キマダラカメムシ

## 2. 現在の状況

事前学習として、生徒一人一人がキマダラカメムシについて調べ学習を行い、調べ学習で生じた意見・疑問を中村先生に話し、お考えを伺いました(図2)。また、中村先生の研究室で学ぶ大学生の研究についても、説明を受けました。課題研究のテーマの候補の一つとしてあがった「水生昆虫」を研究する学生もおり、生徒らはとても熱心に聴いていました(図3)。調査に先立って、キマダラカメムシなど各種標本を観察し、実物を確認しました(図4)。5月16日は、キマダラカメムシが生息すると思われる、サクラの樹木の分布のようすを調べ始めました(図5)。残念ながら、当日キマダラカメムシは観察できませんでしたが、今後もさらに観察を続けていく予定です。(担当 中田 由紀子)

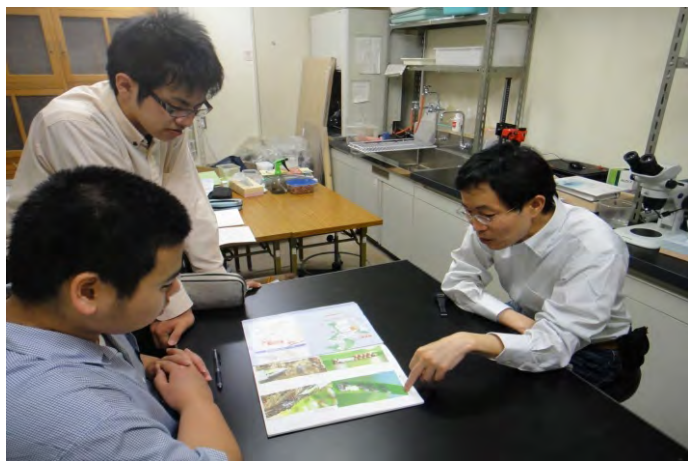


図2 質疑応答



図4 標本観察

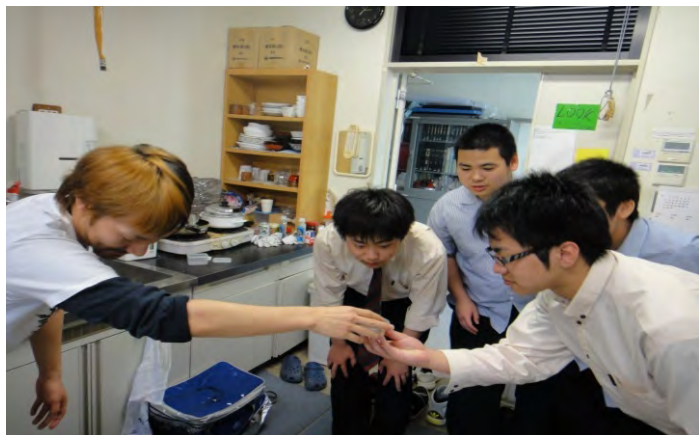


図3 研究室見学



図5 野外観察